

方向 全国的に少子化が進むなか、子どもたちにとって最も大切な役割を担う家庭を基本として、それを補完するかたちで、社会全体で子育てを支援し、子どもを安心して産み育てられるしくみづくり、子どもたちがのびのびと健やかに成長できるしくみづくりを進める。

122 このことにより、親が子育てを楽しいと感じ、子どもたちがいきいきと活動できる場や機会に恵まれ、親と子の笑顔あふれる、子育てのしやすいまちをめざす。

評価 C 客観指標は、サービスや施設の利用状況などについて全般にやや良い傾向であるが、市民生活実感は、ニーズの拡大を背景に保育や子どもたちの遊びの場の確保に関してその充実が実感されておらず、その他の施策についてもどちらとも言えない状況である。この政策については客観指標評価と市民生活実感評価を総合的に勘案して、目的はそこそこ達成されていると評価する。

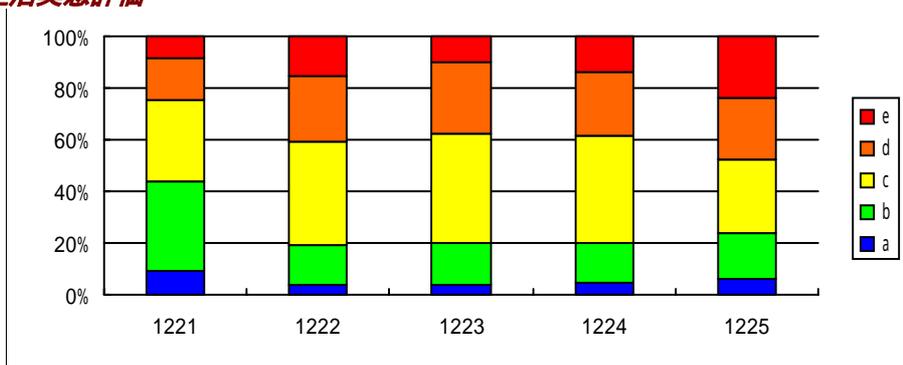
この政策を実現するための施策とその総合評価

施策名	母と子のいのち・健康を守る保健医療の充実	評価:
1221 概要	妊産婦の心身の健康の保持、増進を図るとともに、子ども特有の事故、病気などへの対応など母親と子どもの総合的な保健医療を充実する。	C
施策名	安心して子育てができる保育サービス等の提供	評価:
1222 概要	様々な保育ニーズに対応した多様なサービスを提供し、安心して子育てのできる環境を構築する。	B
施策名	障害のある子どもや養護に欠ける子どもの子育て支援	評価:
1223 概要	障害のある子どもの保育環境の向上や学童クラブ事業における障害のある子どもの受け入れ態勢の充実を図るとともに、養護に欠ける子どもの子育て支援を充実する。	B
施策名	子育ての支援を求める家庭への応援体制の構築	評価:
1224 概要	子育てに関する情報提供や相談、また、地域全体の重層的な子育て支援のネットワークの充実など、子育て支援を求める家庭を社会全体で応援する体制を構築する。	C
施策名	子どもたちがのびのびと健やかに成長できるしくみづくり	評価:
1225 概要	児童館・学童クラブ事業を充実し、児童の健全育成や保護者同士の交流を図る。また、昼間留守家庭児童等に放課後の適切な遊びや生活の場を与え、健全育成を図る。	C

主な客観指標の現在値と評価(アウトカム指標での評価)

1221	周産期死亡率(出産数千対)	6.1d
1222	(準)合計特殊出生率(人)	1.15d
1222	保育所の待機児童数(人)	225b
1223	総合療育事業月平均利用者数(人)	93a
1223	学童クラブ事業における障害のある児童の利用者数(人)	212b
1223	障害児保育実施児童数(人)	93a
1224	地域子育て支援ステーションの相談件数(件)	4544e
1224	こどもみらい館年間利用者数(人)	434313a
1225	児童館の利用児童数(人)	534847c

市民生活実感評価



1221 子どもを産み育てるときに、気兼ねなく健康相談を受けたり、病院にも行けるなど、安心である。 c

1222 子育て家庭のニーズに応じた保育サービスが充実している。 d

1223 障害のある子どもや養護に欠ける子どもに対する子育て支援が十分に行われている。 c

1224 子育てに不安を感じたときに気軽に相談できるところがあるので、心強い。 c

1225 子どもの居場所や遊び場所があるので、様々な体験ができる。 d